

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスcolor樋井川教室		
○保護者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	令和8年1月10日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	特性に応じた支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんの特性に応じた環境設定を行っている。(パーテーションで個室を作る、クールダウンスペースを作る、構造化を意識した掲示物や家具の配置) ・課題となる行動や、それに対する支援方法について毎日支援会議で話し合いを行っている。 ・ストラテジーシートや氷山モデルなどの分析ツールを活用し、ABAに基づく支援を提供することを意識して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部研修の内容をさらに充実させ、スタッフ一人ひとりの専門的知識および支援力の向上を図る。
2	ご家族の不安や思いに寄り添う関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ一人ひとりが話しかけやすい雰囲気を意識して、保護者の方を関わっている。 ・ご家庭の事情や仕事のご都合をお伺いし、ご利用日数やお迎え、お送りの時間の調整を行っている。 ・LINEworksを活用し、保護者の方が困ったことなどがあつた際にいつでも対応できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会などを通して、様々なスタッフが保護者の方と会う機会を設定し、信頼関係を構築していく。
3	スタッフ同士の連携によるチーム力	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ同士がお互いを尊重し合い、意見を否定しないことを大切にするこで、活発な意見交換ができる環境づくりに努めている。 ・スラックを活用し、情報の共有が行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが不安や悩みを一人で抱え込むことなく、安心して共有・相談できるように個別に相談できる体制を整える。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者さんが不穏になった際、声による刺激が周囲に伝わり、他利用者にも影響が及びやすい環境である。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の構造上、音が伝わりやすく、刺激が広がりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イヤーマフや耳栓等の活用により、音刺激の軽減を図る。 ・不穏な状態を未然に防ぐために、個々の特性に応じた支援方法を検討・実施する。
2	利用者同士の関りや交流の機会が限られている。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のニーズに応じた支援を重視していることにより、集団での関りの機会が少なくなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に集団活動を計画・実施するとともに、個々の特性に配慮しながら、無理のない形で利用者同士の関りや交流の機会を増やしていく。
3	地域との交流の機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援が施設内中心となっており、地域と関わる機会の設定が十分ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事への参加や社会資源の活用を通して、地域との関りの機会を計画的に取り入れ、交流の促進を図る。